

「亀岡市のごみ分別辞典」が できました

亀岡市のごみの分別や出し方が検索できる「亀岡市のごみ分別辞典」ができました。皆さんぜひ利用してください。

こちらからアクセスできます。

HP <https://www.gomisaku.jp/0079/>

☎ 環境クリーン推進課

☎ 27-2120

(環境クリーン推進課)

人ホーム亀岡園)、竹本知子さん
(小規模多機能居宅介護あゆみの家)

《共通》

ところ Cafe Lier (かめおかゆう
薬局敷地内、余部町)

対象 認知症が心配な人やその家族

参加料 無料(喫茶費用は実費)

☎ 市役所1階高齢福祉課

☎ 25-5117

※問い合わせは、随時受け付けて
います。

(高齢福祉課)

講師 キャラバン・メイト(認知
症の基礎知識や対応の仕方につ
いて研修を受けた講座の講師)

参加料 無料

申し込み ☎ 前日までに電話で市
役所1階高齢福祉課

☎ 25-5117

(高齢福祉課)

四つ葉のクローバー婚活イベント 「お見合いサロン」

とき 2月22日(土)

午後7時30分～9時30分

ところ 本格珈琲喫茶室胡蝶ノ夢
(大井町)

対象 おおむね39歳～50歳の
独身男女

定員 男女各6人

参加料 3,000円(ドリンク2杯と
おつまみ付き)

申し込み ☎ 2月14日(金)までに、
住所・氏名・年齢・性別・電話番号・
メールアドレスを電子メール、電
話またはFAXで次へ

四つ葉のクローバー担当中原

☎ hanapurara@gmail.com

☎ 090-1713-2049 (午前9時～

午後8時) ☎ 26-2073

(ふるさと創生課)

認知症サポーターステップ アップ講座

認知症サポーター養成講座を受
講して認知症サポーターとなられ
た皆さん、さらに知識を深めてス
キルアップをし、自らできること
を考えてみませんか。

サポーターの証「オレンジリン
グ」をつけて集まりましょう。

とき 2月28日(金)

午後2時～3時30分

ところ ガレリアかめおか2階研修室

対象 市内在住、在勤、在学で
これまで認知症サポーター養成
講座を受講した人

脳活「将棋教室」で脳力アップ

高齢者が将棋を通じて、人との
交流を深め、脳機能の活性化を目
指します。性別を問わず初心者で
も楽しめる教室ですので、ぜひ参
加してください。

とき 2月29日(土)、3月7日(土)

午前11時～午後0時30分

ところ ガレリアかめおか1階ク
ラブ室

対象 60歳以上の人

内容 対局(初心者には指導あり)

定員 4人(先着順)

参加料 300円(1回参加)

申し込み ☎ 各回とも開催日前日
までに、電話で亀将クラブ会長
田井信夫 ☎ 090-6674-5851

(高齢福祉課)

亀岡市プレミアム付商品券の使用は3月1日までです

令和元年10月からの消費税率引上げが家計に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を下支えするため、亀岡市プレミアム付商品券事業を実施しています。商品券を購入された人は、使用期限が3月1日(日)までとなっていますので、2月中をめどに、市内の使用可能店舗でのお買い物などに利用してください。

■亀岡市プレミアム付商品券について

使用期限	3月1日(日)まで
注意事項	使用期限を過ぎた場合は、無効となります。 商品券の払い戻しはできません。

☎ 市役所3階亀岡市プレミアム付商品券事業実施本部 ☎ 55-9567

(商工観光課)

かめおか認知症カフェ「みのり」

認知症の人やその家族が気軽に
おしゃべりやお茶を楽しみ、語り
合える場です。専門職に相談する
こともできます。

《相談と交流》

とき 2月13日(木)、20日(木)

午後2時～4時

《ミニ講話と交流》

とき 2月27日(木)

午後2時～4時

内容 認知症の人への関わり方
について

講師 鹿島佑美さん(特別養護老

DESIGN WEEK KYOTO

OPEN YOUR SIGHTS 2020.2/23-3/1

開催期間 2月23日(日・祝)～3月1日(日) 開催場所 亀岡市・京都市・宇治市各所

将大鍛刀場(日本刀、本梅町) / 長岡銘竹株式会社(竹垣・竹製品、保津町)

丹山酒造有限公司(清酒・甘酒、横町) / 有限会社 宮部仏壇(唐木仏壇、篠町)

有限会社 松案(染焼 窯元、東別院町) / 三浦製材株式会社(製材、東別院町)

☎ (一社) Design Week Kyoto 実行委員会 ☎ info@designweek-kyoto.com

☎ designweek-kyoto.com



(商工観光課)

京都中のさまざまなモノづく
りの現場が「オープン」する
1週間。

期間中、亀岡市内では6つの
工房・工場を訪れて作り手の人
たちと交流することができます。

地元の、だけどもまだ知らない、
モノづくり現場へぜひ行って
みてください。